



寄付金速報 — 財団50周年度は順調な滑り出し —

2017-18年度の最初の月となる7月の寄付金は約2億1,500万円、前年度に比べて1.6%増（普通寄付金：3.9%増、特別寄付金：4.6%減）となりました。普通寄付金の納入が例年よりも早かったようです。寄付者の皆様に厚く御礼申

上げます。

2017-18年度は当会財団設立50周年です。今後とも世界に誇る米山奨学事業の継続と発展のため、更なるご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

来春採用の奨学生募集がスタート

2018年4月の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で534（前年度532校）。指定校からの被推薦者数は1,733人（前年度1,748人）で、この中から新規奨学生574人*1が選ばれます。*1 継続奨学生からの辞退者発生により変動有
地区奨励奨学金（大学・大学院以外の教育機関在籍者が対象）を導入した地区は12地区で、指定校は23校、そのうち初指定は2校でした。地区独自の選考基準（地区選考の目安）を提示

したのは、34地区中30地区で、最も多かった要望は「被推薦者の国籍が偏らないように配慮してほしい」、次いで「ロータリー活動への積極性」「日本語運用能力」などが挙げられました。

募集要項・申込書と指定校の発表および全指定校へのメール案内は、常務理事会承認後、8月2日に行いました。

※2018学年度採用の指定校名や募集要項・申込書式は当会ホームページにて公開しています。

江ノ島海岸清掃活動を実施 — 第2780地区米山学友会 —

第2780地区（神奈川県横浜市・川崎市以外）米山学友会主催の江ノ島海岸クリーンキャンペーンが7月16日に開催され、米山奨学生・学友のほか、大谷新一郎ガバナーをはじめとする同地区ロータリアン、インターアクターなど、例年の2倍の220人が参加。海岸清掃後はバーベキューを楽しみ、交流を深めました。海水浴客からお礼の言葉と共に、ロータリークラブについて尋ねられるなど、ロータリーの広報にも繋がる活動となりました。

4月に同学友会の会長に就任したばかりの宋

イルデ
一大さん（韓国／2015-17／相模原大野RC）は、新体制で主催した初のイベントを終えて、「奨学生たちに日本での思い出をつくってあげることができて良かった。今後、研修旅行や国際交流会なども予定しているので、奨学生自身が活動を楽しめるように、学友会としても力を尽くしていきたい」と、抱負を語りました。



50周年記念式典の登録受付を開始

前号でご案内した通り、当会の財団設立50周年を記念したフォーラムと祝賀会を来年2月4日に開催します。多くの皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

【日 時】 2018年2月4日(日)
第1部 フォーラム 10:30~12:15 「世界に平和の種をまく ~米山記念奨学事業、未来への提言~」
第2部 祝賀会 12:30~14:30

【会 場】 グランドニッコー東京 台場

【登録料】 ロータリアンとご家族…… 10,000円/人
学友・奨学生とご家族…… 5,000円/人
上記以外の方…… 10,000円/人

【申込締切】 2017年9月30日(土)

【送金締切】 2017年10月10日(火)

詳細は当会HPの「財団設立50周年特設ページ」をご覧の上、お早めにお申し込みください。

www.rotary-yoneyama.or.jp/50th#shikiten ←登録用紙は、サイトからダウンロードできます。

50周年記念誌 好評頒布中!

これを読めば、よねやまの歴史のすべてがわかります!

オールカラー/B5版/128ページ
1冊1,800円(送料込)

詳細は当会HPから!

(記念式典登録料と一緒に振り込みいただけます)

台湾学友会による日本人対象奨学金 第9期生が決定

台湾米山学友会(正式名称:(社) 中華民國扶輪米山会)による台湾版米山記念奨学事業「日本人若手研究者奨学金」の第9期生が決定しました。6月末の締切までに13人の応募があり、台湾米山学友会理事会による厳正な選考が行われました。今年度は、台湾のロータリアン

から大口寄付があったことから、通常2人のところ、4人が採用されました。合格者には今年9月から1年間、台湾学友会から毎月25,000台湾ドル(約91,000円)が支給されるほか、学友会メンバーがカウンセラーとなって、台湾での留学生生活を物心両面で支えます。

	邊 美鈴さん 2015年から国立台湾師範大学国際社会学部に留学中。将来はグローバル社会に通用する人材として、語学力を生かせる仕事に就くことを希望している。		平良 佑司さん 国立政治大学大学院の国際MBAコースに在籍。国際的な環境の中、会計学・統計学・リーダーシップ論などを学ぶ。卒業後は日台での起業を目指す。
	村上 優さん 国立台湾大学大学院で人類学専攻。日本統治時代の台湾原住民を研究テーマとし、長期フィールドワークを行いながら論文執筆を目指す。		彦田 恵里さん 9月より2年間、国立台湾大学大学院修士課程で生物資源学・農学を学ぶ。日本と台湾の村づくりの差異に着目し、その要因を探る。

【訃報】 評議員 奥周盛氏(第2500地区) 逝去

評議員の奥 周盛氏(第2500地区)が7月19日にご逝去されました。享年66歳でした。

奥氏は、2014-15年度の国際ロータリー第

2500地区ガバナーで、2015年9月から当会評議員に就任されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。